

平成30年度大分県自立支援協議会

日時：平成30年6月27日（水）14：00～15：45

■議論の要旨 (議題)

1 大分県自立支援協議会及び市町村自立支援協議会の取組について

【事務局からの提案】

- ・ 各専門部会が活発化しているので、本会議は年2回の開催から年1回の開催にしたい。

【委員からの意見】

- ・ 当事者が意見を言える場がほしい。
- ・ 障がい福祉計画の進捗状況の確認が必要。

【事務局回答・今後の方針】

- ・ 当事者の参画については、各専門部会でテーマによって意見を頂戴するなどを検討したい。
- ・ 障がい福祉計画の進捗状況などは、「大分県障害者施策推進協議会」で毎年報告しており、大分県自立支援協議会でも並行して報告をする形にしたい。

2 大分県障がい者基本計画及び大分県障がい福祉計画について

【委員からの意見】

- ・ 好事例を集めて公表してほしい。
- ・ 今秋の全国障害者芸術・文化祭おおいだ大会を契機に、引き続き障がい者が芸術・文化的活動ができるようにしてほしい。
- ・ 障がい者雇用の関係で、企業と福祉の関係者との懇談会があるといい。
- ・ 障がい者の雇用促進の関係で、精神障がい者への支援が難しい。
- ・ 就労継続支援B型事業所において、報酬改定で工賃額で評価されることになったが、やりがいのために働いている障がい者も評価してほしい。
- ・ 色々な所とリンクしながら福祉を使ったまちづくりをしていくのが大事。
- ・ 心のバリアフリーで、もう少し交流があるといい。
- ・ 子どもの困りに気付いた時、大多数の市町村の窓口に障害福祉課の看板があがっているのに、早くに気づきがあっても抵抗がある親御さんも多々見られる。障がいという診断がついても、包括的に子育ての一部として取り扱う窓口の検討を県下一斉にする動きがとれるよう県からも働きかけてほしい。
- ・ 障がいの有無に関わらず子育てを皆でサポートする時代になると感じている。
- ・ 子どもの障がいの社会資源として、入所施設が少なくなっている。
- ・ 表紙にだけでもルビをつけてほしい。ルビ付きと無の二種類あるといい。
- ・ 災害時の支援が大事になっている。
- ・ ピアサポート活動の推進を図ってほしい。
- ・ 市町村の地域生活支援事業の中の芸術文化の補助メニュー等を進めていく視点を盛り込んでほしい。
- ・ 素案ができたなら委員に送ってほしい。

【事務局回答・今後の方針】

- ・（芸術関係）今年4月の組織改正では、障害福祉課を障害者社会参加推進室と分けた。室では芸術文化、スポーツ、就労促進、社会参加を専門的に進める。
- ・（就労・工賃関係）報酬については、県レベルでの検討は難しい。いい方法についてご意見をいただきながら考えていきたい。本題は社会参加推進室の担当なので伝えておく。
- ・（心のバリアフリー）全国障害者芸術・文化祭おおいだ大会で、色々な障がい者の芸術が紹介されることにより、あまり障がい者と接点のなかった人たちも近く感じてくれるようになる努力をしたい。
- ・ピアサポートについては検討していきたい。
- ・基本計画は施策推進協議会で意見をもらう。施策推進協議会で素案を示すので、自立支援協議会でも郵送するなりしてご意見を聞くようにしたい。
- ・県の「安心・活力・活性プラン2015」が平成36年度までの計画期間であるが、中間見直しの時に、県全体の計画に障がい者基本計画の見直し結果等を反映したい。

3 全国障害者芸術・文化祭おおいだ大会について

【委員からの意見】

- ・劇場体験プログラムのような企画が、来年度以降も圏域ごとでいいので、障がい者が体験できるチャンスが増えるよう、今後につなげて欲しい。

【事務局回答・今後の方針】

- ・劇場体験プログラムは、企画を検討する委員会の中でも期待の高い事業だったので、市町村にも今後定着させていきたいと考えている。市町村の担当者と呼んで受け入れの研修をし、障がい者の受け入れのノウハウを蓄積する。映画の上映自体は各市町村でこれまでもやっているのだから、受け入れのノウハウがあれば、障がい者も一緒に、あるいは障がい者に特化したイベントもできると考える。来年度以降、市町村でもやってもらうことを念頭に市町村に声がけをしている。